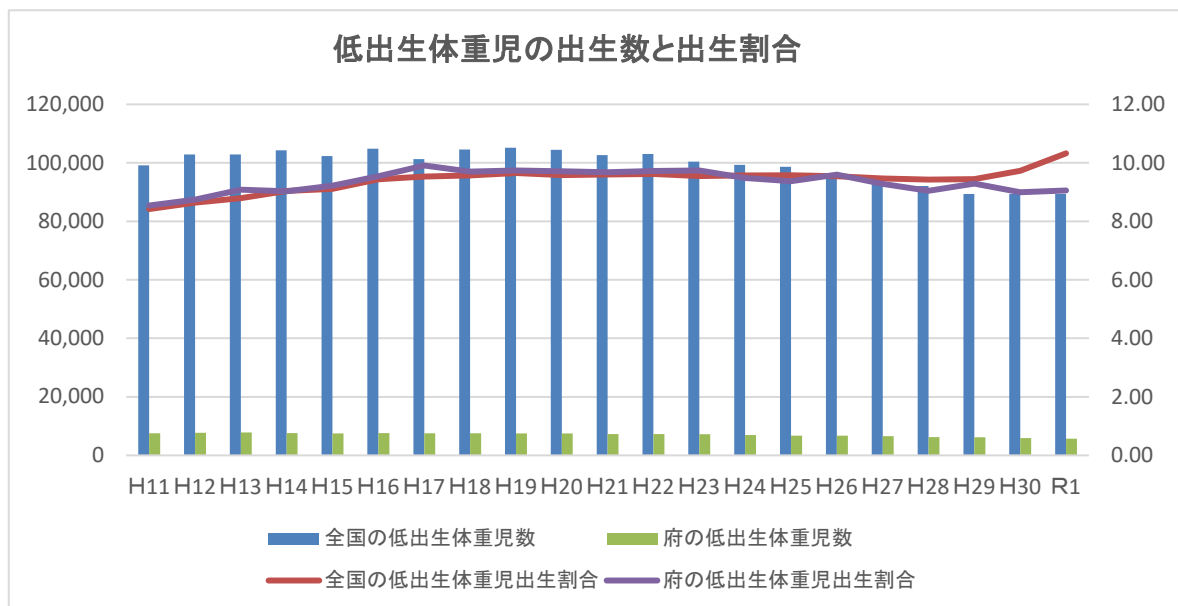


Ⅲ-2 低出生体重児数と割合の推移 全国・大阪府



【低出生体重児の出生総数】

全国低出生体重児総数は、H12以降10万人台で推移していたがH24には10万人を切り、以降減少を続けている。

大阪府の低出生体重児総数は、H13をピークに漸減し、R1では5664人と最も少ない低出生体重児出生数であった。

【低出生体重児の出生割合】

全国の低出生体重児出生割合は過去10年間において、ほぼ横ばいである。

大阪府では、平成11年以降全国の低出生体重児出生割合よりも高い割合であったが、H24に全国の出生割合よりも下回った。

R1は低出生体重児総数は減少したものの、低出生時出生割合は前年よりも0.05ポイントあがり9.05であった。